

第358回三木市議会定例会 市長 閉会あいさつ

令和2年6月26日

閉会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

このたびの市議会定例会は、去る6月4日の開会以来、本日まで23日間にわたり、主に新型コロナウイルス感染症対策に関連した納税猶予や税の減免制度を定めた市税条例等の改正や、各会計補正予算などについて、ご審議をいただきました。

とりわけ一般会計補正予算については、今会期の初めにご提案させていただいたものは、国の第2次補正予算の成立を待つことなく、今お困りの市民の方や、自粛で落ち込んだ市内事業者への支援など、市として取り組むべき独自の支援を、4月臨時会に引き続き盛り込んだものであります。

その後、6月12日の国の第2次補正予算の成立を受け、その支援内容が明らかとなり、また地方創生臨時交付金の拡充が決定されたことから、本日最終日に急きょ第3弾となる追加の補正予算を上程し、ご承認をいただくことになりました。

そのなかで市議会からご提案をいただきました政務活動費や行政視察等に係る経費の減額分については、三木市の未来を担う子どもたちのため、子育て世帯への支援に対する貴重な財源

として、「子育て世帯臨時特別給付金」に充てさせていただきます。当初提案では、国の制度を補完する形で、4月、5月に生まれた子どもを対象として支給することとしておりましたが、市議会のご提言により、6月以降、来年3月末までに生まれた子どもについても支給対象といたしました。

更には、議員の12月期末手当の30%減額についても急きょご提案、ご決定を賜りました。これにより生み出される財源につきましても、今後、市議会のご意向をお伺いながら、新型コロナウイルス対策関連の事業へ充当させていただくこといたします。

市議会のご尽力に心から敬意を表するところであります。

誠に、ありがとうございます。

このたびの新型コロナウイルス感染症の拡大防止に関しては、市民の皆さまに外出自粛や店舗の休業など多くの要請について、長期間に渡り、ご協力をお願いしてきたところです。行政といたしましても、市民の皆さまのつらい思い、深い痛みにも少しでも寄り添い、分かち合いたいとの思いから、市長、副市長及び教育長の特別職について10%の給与カットを、期末手当を含み半年間実施いたします。また、市職員互助会からの申し出を受けた寄附金1,000万円を合わせて、子育て世帯に対するもうひとつの施策である「ひとり親世帯への緊急支援」に、そ

の財源を充当させていただくことといたしました。

新型コロナウイルス感染症という未曾有の危機に直面し、市議会と執行機関及び市職員が、まさに一丸となり「チーム三木」として、向かうべき方向を共有できたことを嬉しく思っております。

このたびの市議会定例会では終始ご精励を賜り、議員各位には、本会議並びに各常任委員会において、熱心にご審議を尽くしていただいたことに深く敬意を表しますとともに、適切なるご決定を賜りましたことに、厚くお礼を申し上げます。

さて、国の緊急事態宣言が、5月21日に兵庫県を含む関西圏で、また、5月25日には全国的に解除となり、1か月が経過しました。

6月に入り、市内の小・中・特別支援学校では、分散登校の期間2週間を経て16日から全面再開をいたしました。また、市内公共施設についても利用を再開するなど、第2波による感染拡大の防止に備えつつ、徐々にではありますが、日常を取り戻す取組を進めてまいりました。

このようななかではありますが、大規模なイベントにおいては、万全な感染症対策をとることが困難であるとの判断のもと、本年11月に予定していた本市を代表する産業と文化の祭典

「三木金物まつり」を中止することが、昨日の実行委員会において決定されました。楽しみにされていた方も多かったことは存じますが、これも苦渋の決断であり、皆さまの命に関わることでありますので、ご理解をお願いいたします。

これからの時期は、梅雨入りによる台風や局地的豪雨の発生など自然災害が起こりやすい季節を迎えております。災害発生時の避難所運営の方法など、更に市民の皆さまの安全・安心な生活を守る取組に細心の注意が必要となってきます。引き続き、市民の皆さまの生活に寄り添い、求められる施策の実現に尽力してまいります。

どうか、議員各位そして市民の皆さまにおかれましても、日頃から災害への備えと、市やマスコミが発する防災情報には十分にご注意をいただき、有事の際には、早め早めの避難行動を心がけていただきますよう、お願いを申し上げ、閉会のあいさつといたします。

ありがとうございました。